

第 36 回全国都市緑化信州フェア

基本計画



信州花フェスタ2019
～北アルプスの贈りもの～

平成 29 年 6 月

第 36 回全国都市緑化信州フェア実行委員会

目次

第1	開催概要等	1
1	基本理念	1
2	開催方針	1
3	開催概要	2
4	展開方針	5
第2	会場計画	6
1	展開方針	6
2	展開想定	6
第3	展示・出展計画	10
1	展開方針	10
2	展開想定	10
第4	行催事計画	13
1	展開方針	13
2	展開想定	13
第5	会場運営計画	14
1	展開方針	14
2	展開想定	14
第6	協働推進計画	16
1	展開方針	16
2	展開想定	16
第7	観客誘致・広報計画	18
1	展開方針	18
2	展開想定	18
第8	事業スケジュール	19
第9	事業推進体制	19

第1 開催概要等

第36回全国都市緑化信州フェア（以下「信州フェア」という。）の開催概要等は、以下のとおりとします。

1 基本理念

信州は緑の国

山々の雪を源とする清らかな水に育まれるみどり
厳しくも豊かな自然を敬い、寄り添うわたしたちのいとなみ

みどりに包まれた心豊かな生活
しあわせが五感を満たしている
この恵みを全国、世界のみなさまとわかちあいたい

わたしたちはみどりのすばらしさを再認識し、伝え、
うるおいのあるまちづくりを未来につなげていくため

北アルプスを望むここ信州松本平で
第36回全国都市緑化信州フェアを開催します

2 開催方針

緑とひとが調和する信州らしさを感じるフェア

信州フェアでは、いつ、どこにいてもさりげなく感じられる、私たちが誇りとする山岳景観、農村景観との調和を強く意識し、いままで営まれてきた持続可能で豊かなライフスタイルを更に磨き、山・里・まちがつながり、緑とひとが調和する信州らしさを感じるフェアを目指します。

ひとりひとりが主人公となり共につながるフェア

信州フェアでは、県民・市民のひとりひとりが、主催者の一員として来場者を迎え、また来園者としても心から楽しめるよう、お年寄り、車椅子の方、障がいのある方、そして子どもや大人までだれもが参加し協働できるユニバーサルな場を展開します。

誰もがそれぞれを必要とし、つながり、将来にわたって地域のコミュニティを高めるフェアを目指します。

日本のまん中 信州から広がるフェア

信州フェアでは、緑と人が調和した暮らしのすばらしさを、日本のまん中、山岳高原空港を有するここ信州松本平から情報発信し、多くの信州ファンを創り出すことを目指します。

緑に包まれるアウトドアアクティビティを広げるとともに、観光交流・移住人口の増加、緑・環境に関わる産業などの広がりを通じ、信州フェアの取り組みが地域や国内はもとより海外にも広がるグローバルなフェアを目指します。

3 開催概要

(1) 名 称

名称：第 36 回全国都市緑化信州フェア

愛称： 信州花フェスタ 2019

～北アルプスの贈りもの～

(2) 開催テーマ

全国都市緑化フェア 統一開催テーマ

「緑ゆたかなまちづくり」

窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう

全国都市緑化信州フェア 開催テーマ

北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし

(3) 主催者等

提 唱：国土交通省

主 催 者：長野県、松本市、大町市、塩尻市、安曇野市、公益財団法人都市緑化機構

実行組織：第 36 回全国都市緑化信州フェア実行委員会

(4) 開催期間

平成 31 年(2019 年)4 月 25 日 (木) ～ 6 月 16 日 (日) 53 日間

(5) 会 場

会場種別	会場・場所		開催期間
メイン会場	松本・塩尻会場	長野県松本平広域公園	通期
サブ会場	安曇野会場	国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）	通期
		長野県烏川渓谷緑地	
	大町会場	国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）	通期
サテライト会場	松本市、大町市、塩尻市、安曇野市の各市において設定		会期中各市で 設定した期間

信州フェアの会場構成は上記のとおりとし、このほか、県内各地に点在する花緑を楽しめる拠点を「グリーンシェアスポット」として認定し、参加協働・協力協賛を展開しながら、フェア終了後も緑化推進の意識が残る場所としていきます。



会場位置図

(6) 想定来場者数 _____

50万人 (メイン会場とサブ会場の想定来場者数の合計)

(7) 入場方式 _____

集客可能な有料催事を検討し、入場料は以下のとおりとします

- ・メイン会場：会場を囲った一律の入場料課金は行いません
- ・サブ会場：現行と同様とします

(8) 事業費 _____

概ね 14 億円 (自治体が出展する自治体出展費は除く)

(9) ロゴマーク



全体で「花束」を表現することで、みどりの恵みをみんなで分かち合い、花や緑の恩恵を未来に伝える贈りものという想いを込めました。

各イラストは、「花フェスタ」のイメージが一目で伝わるように花をメインに配置し、水彩画タッチとすることで、花の優しさや可憐さを表しています。

また、残雪の北アルプスは、フェアの開催地域と開催する春の季節感、北アルプスの下の緑のラインは春の田園風景、リボンのグラデーションはフェア開催中に緑が若葉から青葉に変わる季節の移ろいを表しています。

(10) キャラクター

信州フェアでは統一したシンボルキャラクターではなく、主催自治体にゆかりのあるキャラクターを応援ユニット「信州花フェスタフレンズ」として、広報宣伝などに活用しフェアを盛り上げます。



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

アルクマ
(長野県)



アルプちゃん
(松本市)



おおまぴょん
(大町市)



グレータス
(塩尻市)



みずん
(安曇野市)

4 展開方針

基本理念、開催方針、開催テーマに基づき、信州フェアは「体感」「創造」「交流」を意識し、展開を図ります。

体感

- 信州の暮らしの素晴らしさを感じられ、楽しめるフェアとします
- 信州の自然や風土を表現し、五感で感じる会場を設定します
- これからの暮らしにおける花緑の活用について提案し、体験できるフェアとします

創造

- 様々な県民や団体が参加し、創り盛り上げ、発表する場を提供します
- 新たな緑化技術や出展を通じた学びの場を提供します
- 花緑に包まれたまちづくり、暮らしづくりの契機となる場にします

交流

- 自然や暮らしなど信州の魅力を県内外に発信する場を提供します
- 緑化に関わる様々な団体や個人が出会う場を提供します

展開方針に基づく各計画の方針は、次のとおりです。

体感 創造 交流	会場計画	信州の自然や風土を体感し、 信州の暮らしの素晴らしさを実感できる会場をつくる
	展示・出展計画	信州の自然や風土・文化と多彩な技術で、 これからの花緑を提案する
	行催事計画	信州の自然や風土・文化で人々を魅了し、 地域のにぎわいを創出する
	会場運営計画	花緑と地域の魅力を連携させ、 誰もが楽しめる会場を運営する
	協働推進計画	花緑をきっかけに集い、 交流・体験し、持続できる協働の仕組みを創る
	観客誘致・広報計画	花緑に包まれた信州の魅力を伝え、 集い、多くの信州ファンを獲得する

第2 会場計画

1 展開方針

信州の自然や風土を体感し、

信州の暮らしの素晴らしさを実感できる会場をつくる

- 信州の自然や風景を花緑とコラボレーションさせ、信州の素晴らしさや楽しさを表現し、五感で感じられる会場とします。
- 信州の風土・文化の魅力を花緑と融合させ、見ごたえのある会場とします。
- 既存の公園施設・景観を最大限に利活用し、魅力をさらに押し上げた会場とします。
- 会場は、誰もが安心して楽しめるバリアフリーを意識した会場とします。

2 展開想定

(1) メイン会場

- ・信州フェアの展開方針である、体感・創造・交流をキーワードとした4つのエリアを設定します。
 - 信州の山並みと花のある風景を楽しむエリア
滑走路の先に見える雄大な北アルプスを背景に花が広がる信州の風景を楽しむエリア
 - 信州の花や緑とふれあうエリア
県民市民で創り上げる大花壇で花や緑とふれあい、体感するエリア
 - 花緑のある暮らしを提案するエリア
信州の自然とその恵みを感じ、風土に合う花緑と共にある暮らし、緑化に関する技術や情報などを提案し、国内外へ発信するエリア
 - 出会い・にぎわいのエリア
信州の花と緑、花と緑に携わる人たちなどとの出会い、イベントを通じた賑わいのあるエリア
- ・既存の景観、空間を活用し、中信地域及び県を代表する花や果樹、山野で見られる多年草や花木により立体的かつメリハリのある見て楽しさが実感できる修景を展開します。
- ・既存の緑や公園施設を活かし、花緑による修景・演出とともに「展示・出展」「行催事」「飲食・物販」などの各種コンテンツと連携し、信州の花緑を満喫できる会場とします。
- ・都市公園事業と連携を図りながら、効果的な会場計画を行うとともに、会場と隣接する信州まつもと空港と連携した会場整備を行います。
- ・バリアフリーに対応した動線の整備や効果的に休憩所を設け、誰もが快適に過ごせる会場整備を行います。

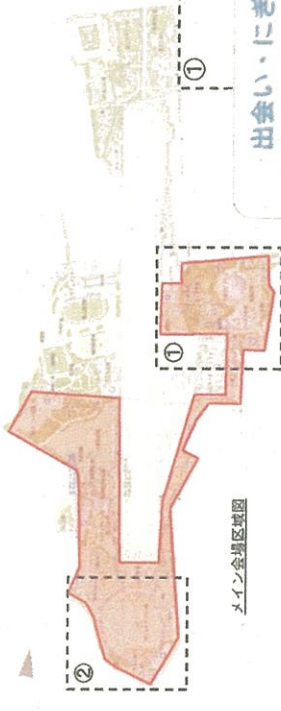


凡例 : 会場区域

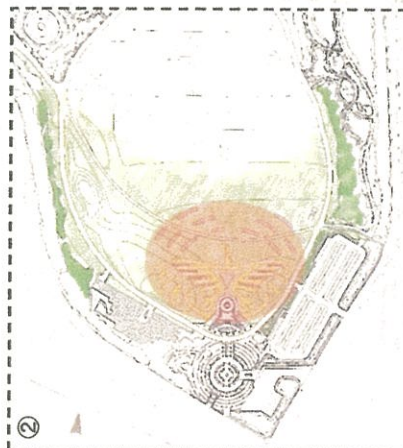
メイン会場区域図

図中の名称は既存施設の名称です

メイン会場計画



メイン会場区域図



信州の山並みと花のある風景を楽しむエリア

滑走路の先に見える雄大な北アルプスを背景に花が広がる信州の風景を楽しむエリア



出会い・にぎわいのエリア

信州の花と緑、花と緑に携わる人たちなどとの出会い、イベントを通じた賑わいのあるエリア



信州の花や緑とふれあうエリア

県民市民で創り上げる大花壇で花や緑とふれあい、体験するエリア



花緑のある暮らしを提案するエリア

信州の自然とその恵みを感じ、風土に合う花緑と共にある暮らし、緑化に関する技術や情報などを提案し、国内外へ発信するエリア



(2) サブ会場

- ・暮らしに寄り添う信州の自然や風土と触れ合い、体験・学習できる会場とします。
 - ・既存のストックを活用し、メイン会場や地域と連携・協力した信州の魅力を発信します。
- 《展開例》エントランス等の花修景（国営公園のみ）／実行委員会と会場運営主体が連携した各種体験教室、体験ツアーの開催（フェアによる拡大）／信州フェア実行委員会によるイベント など



エントランスの修景イメージ

(3) サテライト会場

- ・会場となる各市と、協働で計画・運営を検討・展開します。
 - ・地域が主体となって、花緑により地域を賑わし、身近な暮らしの質を高める場とします。
 - ・地域でフェアを盛り上げ、来訪者を出迎えるおもてなしの展開をします。
 - ・花緑を繋ぎ役とした交流を生み出し、活気ある地域づくりやまちづくりに繋がる展開をします。
- 《展開例》会場等の花修景／協働による地域花壇／花緑のセミナー、講習会 など

(4) グリーンシェアスポット

- ・グリーンシェアスポットは、各スポットの運営主体（地域・団体等）と協働で展開します。
 - ・県内各地に点在する花緑を楽しめる拠点と連携し、全県的な都市緑化の波及を図るとともに周遊を促進し、観光面など各地の振興に貢献できる花緑のスポット展開をします。
 - ・県内各地の都市緑化、花緑を楽しめる拠点のネットワークを構築し、フェア後も持続的に花緑に親しみ、参加できる場をつくれます。
- 《展開例》協働による地域花壇／花緑の情報発信 など



グリーンシェアスポットのイメージ

第3 展示・出展計画

1 展開方針

信州の自然や風土・文化と多彩な技術で、これからの花緑を提案する

- 信州フェアの基本理念や展開方針を踏まえ、信州らしい多彩な展示・出展を行うことで、繰り返し来場したくなる魅力的な会場とします。
- 未来の緑化の担い手となる個人や団体など幅広い層に参加を募り、協働で創り上げることで、参加者の緑化意識を変え、緑化意欲を喚起する展示を行います。
- 様々な企業や団体などから、花緑とのかかわり方や暮らしの質を高める花緑の取り入れ方などの提案の場を設け、来場者が緑化技術の新たな発見につながる出展・展示を行います。
- 使用する植物は、会場の景観や雰囲気、伝えるテーマやイメージ、コンテンツの内容、目的など、会場計画に合わせて調達します。

2 展開想定

(1) 展示

- ・会場の景観や雰囲気、伝えるテーマやコンテンツの内容や目的などに合わせた花緑による修景で会場を美しく盛り上げます。
- ・参加者が花緑に触れることにより達成感を得られ、花緑への関心や意識が高まる協働展示を展開します。

《展示例》

はじまりの花庭（主催者展示）、北アルプスと花の丘（協働展示）など

(2) 出展

- ・多くのカテゴリーにより、県内外の企業・団体・個人が出展者として花緑のアイデア、工夫、技術を発信し、暮らしに役立つ花緑を表現する場を創出します。
- ・来場者が信州の風土に合った花緑を感じ、花緑と共にある暮らしを創造するガーデンを展開します。
- ・出展者の意欲と来場者の緑化技術に対する関心を高めることを目的に、出展を対象とした専門家によるコンテストをメイン会場で行います。

《出展例》

信州の庭、信州ナチュラルライフガーデン など



信州ナチュラルライフガーデンイメージ



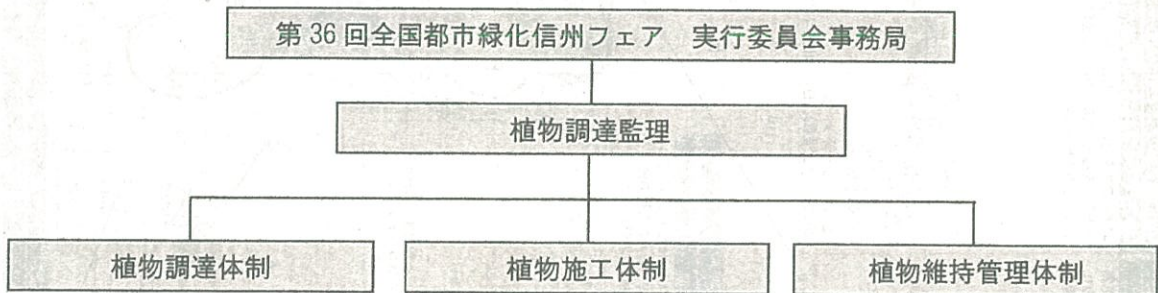
北アルプスと花の丘イメージ



企業・団体出展イメージ

(3) 植物調達

- ・植物種及び品種は、中信及び県内の生産状況や園芸産業の振興、今後の都市緑化推進の観点から選定します。
- ・特殊な種類・品種を除き、中信地域及び県内で生産される植物を基本に調達します。
- ・植物の調達は、一般の流通や生産に支障のないよう、植物の生産調達体制、生産状況の調整、会場への搬入・施工・維持管理を円滑に推進するための総合的な監理体制を整えます。




植物調達監理体制図

メイン会場ゾーン図

E: 芸術と花の森
田舎の花の景色を再現する

アカマツ林の足元に落ちる木漏れ日と影、そして色彩豊かな草花が織りなす幻想的な林床花壇に出展者によるアート作品が楽しみを添えるガーデンを展開します。


■コンセプトイメージ:
自治体出展 (県外自治体出展花壇)、各種団体・高校・中学校等出展 (作品等)、ゾーン修景 (主催者)



F: 北アルプスと花の丘
みんながつくる10万株の原野大花壇

北アルプスを望む丘に、県民市民や来場者で色とりどりの草花を植え、大迫力の花の丘を演出し花壇と抱れあう楽しみを伝えます。


■コンセプトイメージ:
協働展示 (主催者)、自治体出展 (県内市町村出展)




G: あそびの森
こどもから大人まで楽しめる緑の遊び場

樹林を彷彿とさせる既存の緑に「遊び」の要素を加えた楽しい緑のガーデンを展開します。

■コンセプトイメージ:
企業団体・高校・中学校等出展、休憩所、移動飲食販売、大型遊具 (施設)




H: 信州ナチュラララティブガーデン
信州の風土に似合う宿根草・多年草で彩り豊かされる「草花と楽しむ暮らしの庭」や身近な緑の野草をテーマとした「野菜と楽しむ暮らしの庭」、地元産の食材を使った飲食の提供など、信州の自然を感じ、五感で花壇を楽しむ花壇と共に暮らすを創造するガーデンを展開します。



A: 出合いの広場
来場者をお出迎えするプロムナード

ケヤキ並木の足下を草花で飾り、フェアへのワクワク感を演出するエントランス修景を展開します。


■コンセプトイメージ:
沿道修景 (主催者)



B: ハレの広場
フェアを盛り上げる花壇広場

花壇との出合いのはじまりとなる「はじまりの花壇」と県民市民の手づくりの花壇で彩られた各種の催しにも対応したフレキシブルな広場を展開します。


■コンセプトイメージ:
はじまりの花壇 (主催者展示)、各種団体・県民市民出展 (ハンギングバスケット、花壇コンテナ) 休憩所、屋外ステージ、ゾーン修景 (主催者)



C: やまびこドーム
花壇を学ぶ交流 催事空間

ドーム周りを草花で飾り、屋内の花壇作品の展示や講習会、閉閉式等の公式行事、各種イベントを行う催事空間として展開します。


■コンセプトイメージ:
各種団体・県民市民出展 (屋内出展)



D: 信州マルシェ
フェアを盛り上げるにぎやかな市場

長野県や中部4市の地産力を発信した飲食、特産品や工芸品、食品、日本酒等の切り花のほか、家に入った花壇を家庭でも再現できるように会場内の植物を販売するマルシェを展開します。

■コンセプトイメージ:
コンテナツツイメージ:
企業団体・高校・中学校等出展 (緑化空間、環境緑化、植物品類等)、小中学校出展 (花壇コンテナ)、沿道修景 (主催者)、休憩所




I: 信州の庭
暮らしあふれる市街地を彩る

■コンセプトイメージ:
コンテナツツイメージ:
企業団体・高校・中学校等出展、飲食施設、ゾーン修景 (主催者)

■コンセプトイメージ:
飲食施設のイメージ

■コンセプトイメージ:
野草と楽しむ暮らしの庭のイメージ



12

第4 行催事計画

1 展開方針

信州の自然や風土・文化で人々を魅了し、地域のにぎわいを創出する

- フェア開催の理念を具現化や信州の自然や風土、文化を活かした緑化の推進に向けた行催事を行い、花緑の普及に繋がります。
- 花緑に留まらない他分野との連携や、県民・企業・団体・行政などとのタイアップにより、魅力的で集客力の高い催事を展開し、フェア会場をはじめとした地域全体のにぎわいを創出します。

2 展開想定

- ・行催事は、実行委員会が行う「主催者行催事」と、実行委員会が認めた事業者が行う「タイアップ催事」「公認催事」の3つで展開します。
- 主催者行催事：開催理念の具現化や都市緑化の推進を目的に実施
- タイアップ催事：企業や団体・行政等とのタイアップによる来場促進や信州の魅力発信を目的に実施
- 公認催事：県内各地で開催機運の向上や都市緑化の推進を目的に実施
- ・PRイベントの実施など積極的な開催周知を図り、開催機運を高めフェアに向け地域全体が盛り上がる展開を図ります。

区分	名称	展開想定	展開想定場所
主催者行催事	公式行事	開・閉会式、全国都市緑化祭など	メイン会場
	主催者催事	カウントダウンイベント、PRイベント、花緑に関するシンポジウム、ワークショップ、4市の日など	メイン会場・サブ会場
タイアップ催事	メディアタイアップ催事	物産展、音楽、芸能、シンポジウムなどマスメディアと連携し実施する催事	メイン会場・サブ会場 サテライト会場
	一般タイアップ催事	地域の文化・芸能、行政（市町村、姉妹都市など）PRイベント、企業・団体・地域イベント、ワークショップなど	メイン会場・サブ会場 サテライト会場
公認催事	応援イベント	NPO法人、自治会、企業、ボランティアグループ、行政などが主催する信州フェアを応援する催事	県内各地



主催者催事イメージ



タイアップ催事イメージ

第5 会場運営計画

1 展開方針

花緑と地域の魅力を連携させ、誰もが楽しめる会場を運営する

- 会場内の花緑を、来場者の誰もが安心安全で快適に楽しめる会場運営を目指します。
- 県民市民のひとりひとりが、主催者の一員として来場者を迎え、おもてなしができる運営体制の構築を目指します。

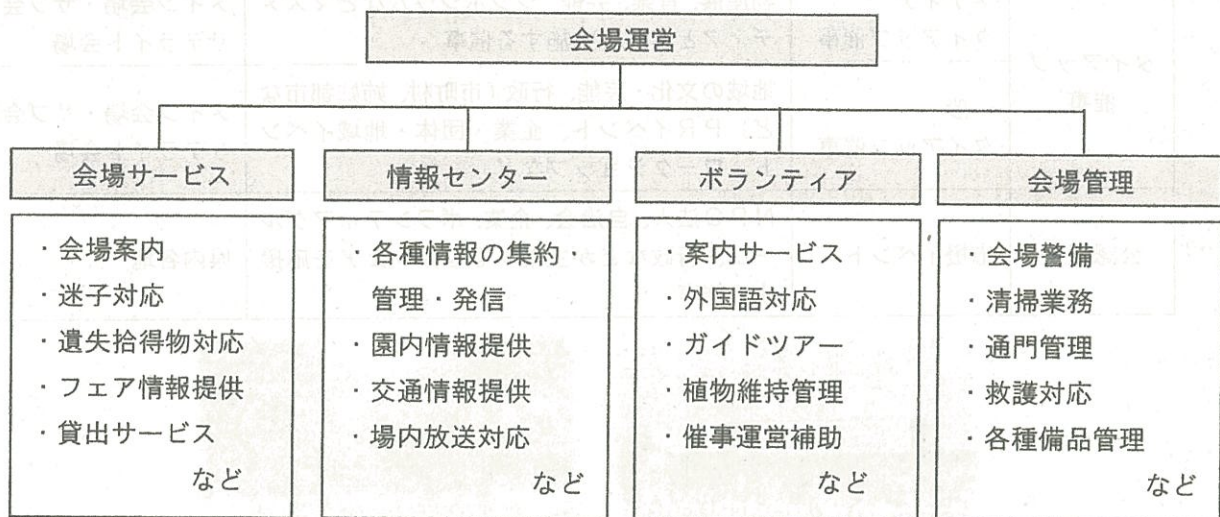
2 展開想定

(1) 安全性・快適性・サービスの確保

- ・メイン会場では、会場サービス及び会場管理業務を基本に、来場者やボランティアの安全性や快適性の確保に努めるため、運営体制の構築と総合案内所やボランティアセンターなどの必要な施設の設置をします。
- ・開催期間中は情報センターを設置し、来場者やフェア関係者へ交通情報や行催事など、来場者が必要とする情報をホームページやSNSを活用して広く提供します。
- ・ご当地グルメなど信州の「食」を展開するとともに、郷土物産や会場内で植栽されている草花や材料・資材などの販売サービスを展開します。

(2) 参加しやすいボランティア活動の構築

- ・多くの県民市民が、楽しみながら無理なくボランティア活動に参加できる機会を創出します。
- ・ボランティア活動のフォロー体制の拡充とボランティア同志の友好的醸成を図ります。
- ・今後のボランティア活動にも活かしていただくことを目的に研修を実施します。





貸出サービスイメージ



植物維持管理イメージ



催事運営補助イメージ

(3) 安全で快適な交通輸送体制の確保

- ・効果的で効率的な交通計画を立案し、快適で円滑な交通輸送体制を作ります。
- ・公共交通機関利用の喚起のほか、以下の項目について検討し、来場者の安全性や快適性の確保、周辺環境への配慮に努めます。

《検討項目》

主要駅や会場駐車場からのシャトルバス運行

既存公園駐車場を活用した会場ターミナル

多客イベント時の交通輸送方式

渋滞などの会場周辺対策及び交通誘導方式

会場と駐車場を結び移動・観覧できる園内交通

サブ・サテライト会場では、既存の交通輸送を活用した地域の花緑や観光などが楽しめる魅力ある周遊

第6 協働推進計画

1 展開方針

花緑をきっかけに集い、交流・体験し、持続できる協働の仕組みを作る

- 個人や団体・企業・学校等がフェアへの参画・体験をきっかけに、みどりに関するスキルアップや知識を習得する「ひとづくり」によって、持続可能な花とみどりのまちづくりにつなげる契機とします。
- 造園、建設、農林業、観光、商工業などの産業、学校、まちづくり活動など、みどりに結び付く多様な関係組織・団体・個人が集い、交流ができる「つながりづくり」の場を提供します。
- 花やみどりに触れ合う機会を増やし、緑化活動を身近に感じていただく「しかけづくり」として、誰でも参加・連携しやすい環境を整え、身近なみどりに関わる情報提供を行います。

2 展開想定

- ・花緑を育てる体験を通じた「ひとづくり」や多様な交流を生み出す「つながりづくり」、参加しやすい場を作る「しかけづくり」を展開し、協働による持続可能な緑化推進を図ります。

ひとづくり：みどりに関わる人材育成（知識の習得、技術力の向上）

つながりづくり：多様な主体による交流促進とネットワークの構築

しかけづくり：参加しやすい環境整備やみどりに関する情報提供

- ・各会場で従来から行われている協働活動を活かしつつ、さまざまな主体に応じた新たな協働推進を検討し、参加しやすい環境づくりや呼びかけ、運営方法などを具体化します。



持続可能な緑化推進

協働展開のイメージ図

協働の対象ごとの展開想定

	県民市民（個人）	企業・団体等	学校等	行政
ひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> 会場内の協働花壇の製作協力 シンポジウムやセミナーの参加による緑化意識の高揚 個々の知識や技術に対応した講習会等への参加 など 	<ul style="list-style-type: none"> 企業出展への参加により技術力の向上を図る 園芸講座やガイドツアー等、体験型プログラムの企画・運営の提供 など 	<ul style="list-style-type: none"> 造園・園芸などの専門性のある学校による展示出展参加 協働作業による会場の花壇づくりへの参加 など 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体やNPO法人など既に協働に取り組む団体と連携した緑化推進の検討 など
つながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> オープンガーデンや屋敷林などをグリーンシェアスポットとして登録し、取り組んでいる個人や団体の交流を促進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 企業のCSR、団体等によるボランティア活動との連携 造園や農林業にとどまらず、商工観光など幅広い分野からの出展協力による交流 など 	<ul style="list-style-type: none"> 各会場の催事や事前イベント等へ地域の園児や児童、生徒の参加・交流 など 	<ul style="list-style-type: none"> 協働推進を担う部署や事業との連携 グリーンシェアスポットの周知や登録推進 など
しかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> 植物管理、催事、会場サービスなど会場運営ボランティアへの参加 地域を代表する花木の植樹など、まちづくりに寄与する行催事の提供 など 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な企業・団体と連携し、誰もが参加しやすい緑化活動の提供 など 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなボランティア活動などのきっかけとなる協働プログラムへの参加 など 	<ul style="list-style-type: none"> 公共花壇など緑化活動の場所の提供及び支援 Web 広報紙等の行政媒体を活用した花緑スポットの紹介や緑化推進の情報提供 など



協働による花壇づくりイメージ

第7 観客誘致・広報計画

1 展開方針

花緑に包まれた信州の魅力を伝え、集い、多くの信州ファンを獲得する

- 県及び中信4市の観光誘客戦略を踏まえ協力・連携することで、フェアへの誘客はもとよりフェアを契機に開催地域をはじめとした県内の更なる観光誘客促進を図ります。
- 県及び中信4市をはじめ県内市町村、県民、企業及び団体等と協力・連携し、効果的なフェア開催周知を図ります。
- 緑化活動を行う県民や団体をはじめ、各種産業分野や、学校、まちづくり活動等、みどりに結びつく幅広い企業・団体等へ積極的な誘客を図ります。

2 展開想定

(1) 観客誘致計画

- ・中信地区の地域資源、観光資源を発信する事業や各種キャンペーン等との連携、交通機関を活用した誘客等の多様な相手先と協力・連携した効率的かつ効果的な方策で展開します。
- ・県内や近隣県、さらには首都圏、中部圏、近畿圏、信州まつもと空港の就航先である北海道、九州圏等の広域的な観客誘致を図ります。
- ・県及び中信4市の海外の観光誘致圏や交流のある姉妹・友好都市等からのインバウンドについても検討します。

(2) 広報計画

- ・県及び中信4市の誘客キャンペーンと連携し、地域における観光資源の魅力発信と併せた活動によりフェアの開催周知を図ります。
- ・適切な時期、場所、手法による戦略的な広報活動を積極的に展開し、フェアに向けた開催機運の醸成を図ります。
- ・県及び中信4市をはじめ県内市町村、県民、企業及び団体等と協力・連携し、幅広い広報ツールを活用した効果的な広報活動を展開します。

《広報ツール例》

印刷物（ポスター・チラシ等）、公的広報、パブリシティによる広報（新聞・テレビ・ラジオ等）
広告宣伝、Web・SNS、広告物（横断幕・懸垂幕等）、広報グッズ（花の種などのノベルティ）など

(3) 参加協賛計画

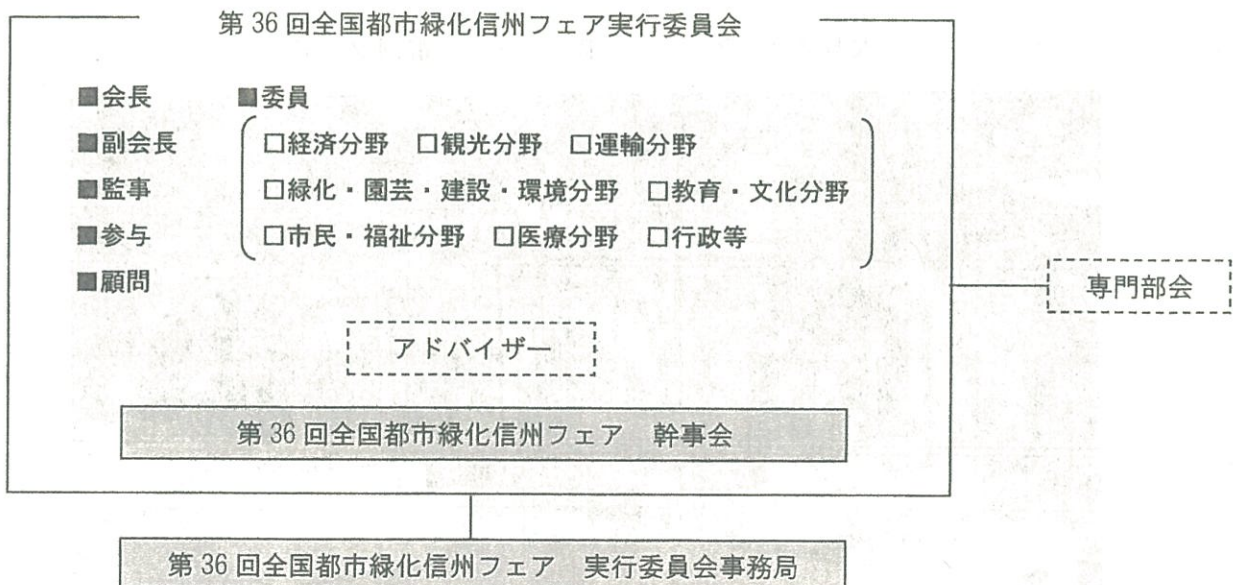
- ・信州フェアの各種計画と連携した参加協賛計画を構築し、最大限の支援獲得を目指します。

第8 事業スケジュール

項目	平成28年度(開催3年前)	平成29年度(開催2年前)	平成30年度(開催1年前)	平成31年度(開催年)
全体計画	基本構想	基本計画	実施計画・実施運営等	信州フェア 4/25~6/16
会場整備		設計・整備		撤去
国との協議	9月12日 大臣協議・同意			全国都市緑化祭
実行体制	懇談会 懇談会 パブリックコメント	6月24日 実行委員会設立・総会 総会	総会	実行委員会解散

第9 事業推進体制

- ・信州フェアの開催準備及び運営等の具体的な事業の推進を図るための実行委員会事務局を設置します。
- ・実行委員会は事業を円滑に推進するため、長野県・松本市・大町市・塩尻市・安曇野市の担当部局及び関係機関による「幹事会」を設置します。
- ・必要に応じて、フェアの展開に関し専門的な観点から助言を得るため「アドバイザー」、フェアの実施等について専門的に審議するため「専門部会」を設置します。



全国都市緑化フェアの取組事例紹介

ハンギングバスケットの展示・・・ 静岡フェア



大型プランターへの植栽・・・ 静岡フェア



花苗によるトピアリー1・・・ 静岡フェア



花苗によるトピアリー2・・・ 静岡フェア



会場周辺道路の植栽 静岡フェア



公園内並木の植栽・・・ 静岡フェア



園路の立体的な植栽・・・ 横浜フェア



噴水広場の植栽・・・ 横浜フェア



文化施設での植栽・・・横浜フェア



歩道での展示1・・・横浜フェア



歩道での展示2・・・ 横浜フェア



歩道での展示3・・・ 横浜フェア



公園内の展示・・・ 横浜フェア

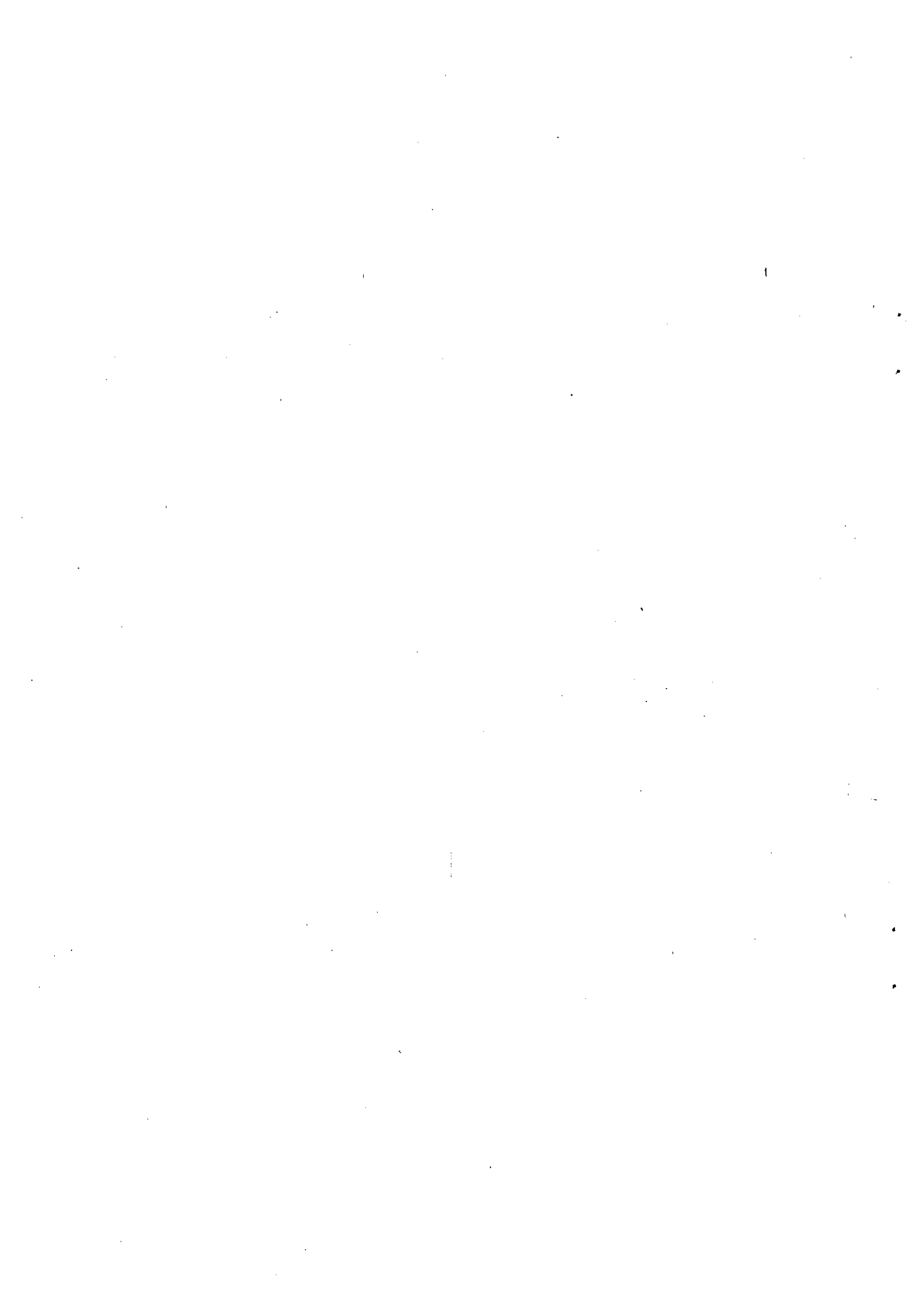


道路でのインフィオラータ

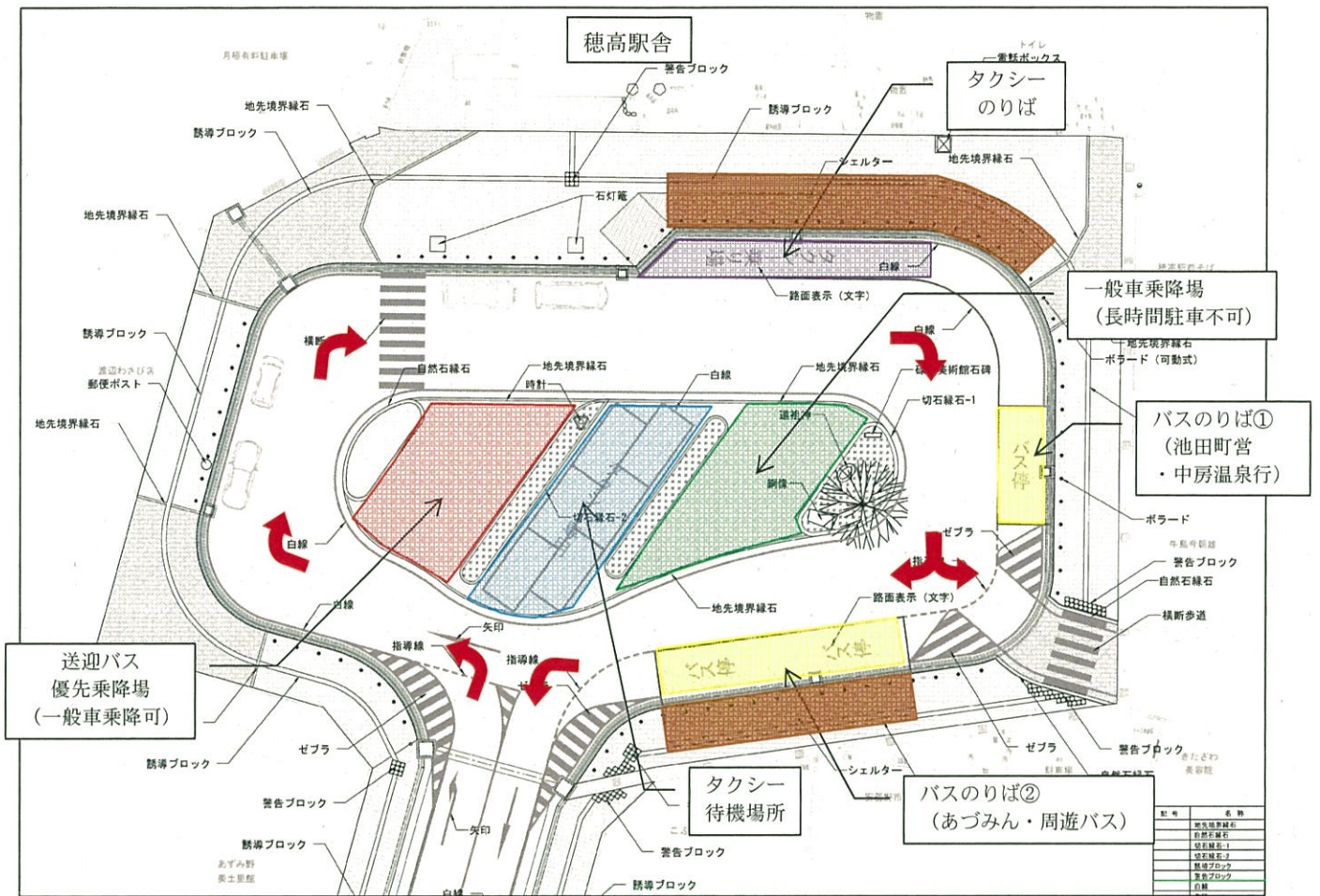


農地に地上絵作成





穂高駅前広場が完成します。



【駅前ロータリーの利用方法】

- ・ロータリー内の通行方法については、時計回りの一方通行となります。
- ・中央交通島の利用方法については、駅舎に向かって左側より送迎バス等優先乗降場、中央部がタクシーの待機場所、右側が一般車乗降場となります。
- ・送迎バス等の乗降については、ロータリー車道上ではなく、優先乗降場をご利用ください。
- ・バスのりば及びタクシーのりばを北側に固定し、利用しやすくなります。
- ・利用者にはシェルター（屋根）を整備し、快適に乗り換えができるようになります。

【今後の予定】

- ・ 7/9 (日) 頃 ロータリー内の車道舗装・白線の施工予定
- ・ 7/21 (金) 穂高駅前広場整備事業竣工式

安曇野市 都市建設部 都市計画課
 課長：久保田 薫 係長： 中田 徹
 担当：木村 行男
 電話：0263-71-2248 / FAX：0263-72-3569
 E-mail:toshikeikaku@city.azumino.nagano.

